

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語 I C
科目基礎情報					
科目番号	41003	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科	対象学年	1		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	「精選国語総合 古典編 改訂版」(筑摩書房)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)				
担当教員	薄井 信治				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢文や漢詩の背景と要点を理解でき、短い説明文が書ける。(定期試験)</li> <li>・ 漢文や漢詩、漢語についての質問に答えられる。(口頭試問、定期試験)</li> <li>・ 漢詩を鑑賞し、鑑賞文を指定の形式で書ける。(レポート)</li> <li>・ 訓点や句法を理解できる。(定期試験、小テスト)</li> <li>・ 授業についてのレポートが書ける。(レポート)</li> <li>・ 常用漢字の読み書きができる。(小テスト)</li> </ul>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安	
評価項目1	口頭試問に9割以上正答できる。	口頭試問に8割以上正答できる。	口頭試問に7割以上正答できる。	口頭試問に5割しか正答できない。	
評価項目2	レポートを提出し、8割以上の評価を得られる。	レポートを提出し7割以上の評価を得られる。	レポートを提出し、6割以上の評価が得られる。	レポートを提出できない。	
評価項目3	漢詩の鑑賞文を指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	漢詩の鑑賞文を指定の形式と字数で書ける。	漢詩の鑑賞文を指定の形式で書ける。	漢詩の鑑賞文を提出できない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第4学期開講。検定教科書を用いる。授業では音読と訓点に重点を置く。詩文の背景の説明を詳しく行う。				
授業の進め方・方法	教科書本文を読解し、内容理解の確認のために口頭試問を行う。				
注意点	漢文は非常に完成度の高い人工言語である。そして訓読漢文は日本人が血肉としてきたものである。訓読することで、省略されることの多い主語や目的語が分かり、品詞や時制が分かるようになる。日本語は、いつ、どこで、だれが、といったことを曖昧なまま使用することができる言語である。そんな日本語にとって、訓読漢文は外してはならない芯なのである。訓読漢文に親しみ、読めるようになって、日本語の力を向上させて欲しい。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス (漢文入門) ①	漢文を学習する意味を理解できる。訓読を理解し、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		2週	(漢文入門) ②	漢文を学習する意味を理解できる。訓読を理解し、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		3週	(故事1) ①	「推敲」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		4週	(故事1) ②	「推敲」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		5週	(唐詩) ①	漢詩とはどういうものかを理解できる。 ・ 唐詩の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。	
		6週	(唐詩) ②	漢詩とはどういうものかを理解できる。 ・ 唐詩の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。	
		7週	(唐詩) ③	漢詩とはどういうものかを理解できる。 ・ 唐詩の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。	
		8週	(唐詩) ④	漢詩とはどういうものかを理解できる。 ・ 唐詩の読解の仕方を理解し、鑑賞できる。 ・ 鑑賞文の書き方を理解でき、実際に鑑賞文を書くことができる。	
	4thQ	9週	(故事2) ①	「完璧」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		10週	(故事2) ②	「完璧」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		11週	(故事2) ③	「完璧」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。	
		12週	(文章) ①	「雑説」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。漢文での評論文の読み方を理解できる。	
		13週	(文章) ②	「雑説」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。漢文での評論文の読み方を理解できる。	
		14週	(文章) ③	「雑説」を読んで、訓読漢文の読み方を理解できる。漢文での評論文の読み方を理解できる。	
		15週	定期試験		
		16週	試験返却・解説	試験解説により、訓読漢文についての理解を深める。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	

			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	レポート	口頭試問	合計
総合評価割合	60	15	15	10	100
知識の基本的な理解	40	5	5	5	55
思考・推論・創造への適用力	20	10	10	5	45